

◆実施概要

日時：令和8年1月7日（水）9時～2月4日（水）17時

場所：オンラインによる動画配信

（テーマ）「今日からできる！デジタル技術を活用した業務効率化」

（講師）テイクストーンズコンサルティング合同会社

業務デザイン・ラボ 代表社員 武石 ゆかり 氏

（講演内容）

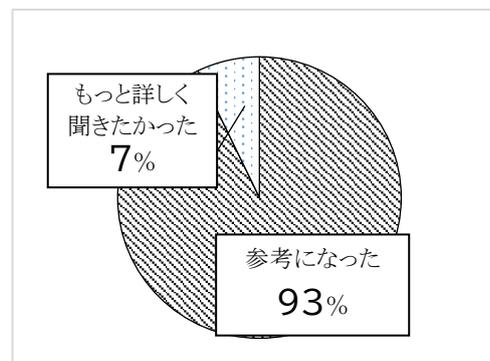
- 働く女性の増加や価値観の変化によるワーク・ライフ・バランスと生産性向上の必要性、デジタル化の意義、デジタル化による業務効率化の具体例、イクボスに求められる視点や役割、生成AI活用における誤情報生成や情報漏洩などのリスク管理について講演いただきました。
- イクボスプロジェクトの実施に賛同いただいたイクボス宣言登録企業名の紹介いたしました。

◆視聴回数 474回

◆アンケート結果（n=15）

1 講演の内容はいかがでしたか

回答項目	件数	割合
参考になった	14	93%
参考にならなかった	0	0%
もっと詳しく聞きたかった	1	7%



2 上記で選んだ項目について、どの様な点が教えてください。

【「参考になった」と回答した方】

- ・弊社は小企業でかつ業務が多岐にわたっております。よってデジタル技術活用の実行は課題が多いことが分かりました。
- ・DX化可能な点を聞いてみたかった。事例はとても参考になりました。
- ・内容はAIの使い方まで含め盛り沢山ですが、一つ一つは実際に取り組むと膨大な作業や難しさがあると思います。成功事例もよいですが、例えば勤怠管理システムでも自社に適したシステムを選択することも難しいですし、稼働を始めてから使いこなすのも難しい。システムのお世話をする手間も結構大きいと思います。デジタルはイレギュラーな事に弱いのでそれに対応する手間も大きい。最後の市や県のサポートの情報が一番有効な気がしました。参考になりましたが、一度や二度の視聴では実際にデジタルの活用までの道りは長いと思います。一步としての全体をとらえるという点では参考になりました。
- ・話が具体的でわかりやすくよかった。特に最後の方の複数の参考サイトが活用できそうなので、にこの後アクセスしてみたいと思います。
- ・業務効率化を進める際の注意点、他社業務改善例等は参考になりました。AI利用の際のガイドライン作成等の参考になるサイトなども教えていただけたので情報収集しようと思いました。
- ・今、誰もがパソコンや携帯電話などで使える状態になっているのでガイドラインの策定が必要に感じました。
- ・具体的なGeminiの利用方法があった。最終確認は、利用者が行うことが前提であれば、利用者がわからないこと（外国語など）は、確認できないので、利用できない。ということがわかった。
- ・AIでのデータ分析の説明がよかったです。社内でも利用できないか、検討を行いたいと考えています。
- ・説明が具体的な例を用いていて分かりやすかった。独立行政法人情報処理推進機構セキュリティセンターの5分でできる！情報セキュリティ自社診断や、一般社団法人日本ディープラーニング協会の生成AI

Iの利用ガイドラインなど、今後社内で活用する際にすぐに役立つ資料を紹介していただいたのもありがたいです。

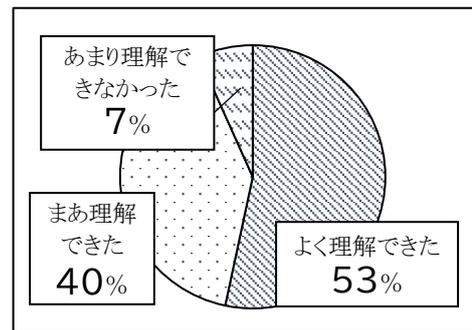
- ・イクボスに求められる視点の具体的な解説のところ
- ・「時間は有限」、「人が人しかやれないことに集中できる状態にすること」というお話を聞いて、デジタル化への意識が少し高くなりました。
- ・デジタル化するという意識は以前からありました。これまで職員が手書きまたは手入力をした必要書類等を用意し、行政や金融機関の窓口等で行っていた手続きを電子申請化しました。
- ・現在行っている業務の中で、生成A Iを利用できるものがあるのかがまだわかっていません。また、生成A Iを利用するうえでは、セキュリティ対策やガイドラインの策定、職員の教育等が必要になるのではと思いました。*
- ・時代の流れに合わせた対応が必要なのと、効率面を考えた対策が必要不可欠であることがわかりやすく説明されていました。
- ・とても有意義な内容で、所要時間も適当でした。
- ・これからA Iなども活用、意識改革をして如何に業務改善ができるかが重要と感じました。
- ・残業時間の短縮のように具体の目標を共有化することの大切さが理解できました。業務改善の目標選択・設定や取組方法など体制を含めた環境づくりが重要と感じました。

【「もっと詳しく聞きたかった」と回答した方】

- ・生成A Iに機密情報を学習させないようにする設定方法

3 デジタル技術を活用した業務の効率化について、理解できましたか。

回答項目	件数	割合
よく理解できた	8	53%
まあ理解できた	6	40%
あまり理解できなかった	1	7%
理解できなかった	0	0%

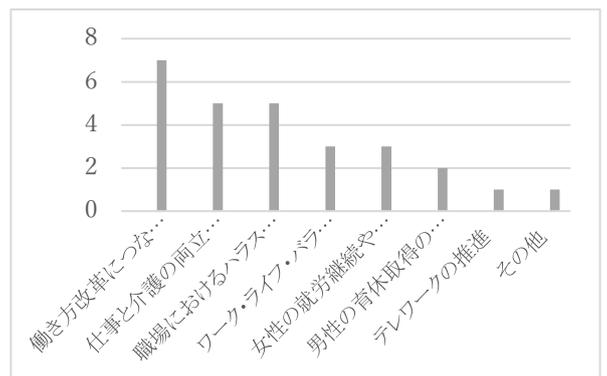


4 講師への疑問・質問

- ・例えばA Iを有効に利用するために有料のA Iを申し込み導入することは簡単でしょうが、お話の中のセキュリティなどの設定や会社としてのマニュアル作成など、デジタル人材がいない中小零細企業はどのようにしたら出来るのでしょうか。お金を払えば何でも導入まではできますが、使えるようになるまでの道筋がよくわかりません。それ自体をA Iに聞きながらやるということが結論でしょうか。

5 今後、どのようなテーマであれば講演会等に参加されたい・視聴されたいと思いますか。(複数回答)

回答項目	件数
働き方改革につながるデジタル技術の活用	7
仕事と介護の両立支援	5
職場におけるハラスメント対策	5
ワーク・ライフ・バランスの実現	3
女性の就労継続やキャリアアップ	3
男性の育休取得の促進	2
テレワークの推進	1
その他	1

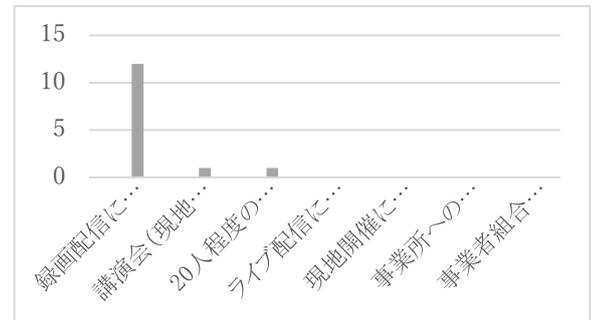


【「その他」と回答した方】

- ・男性の育休取得というと総論の多い講演会となりますが、もっと実際の手続きの仕方とか社会保険との関係や給与の締めとの関係から、どのような日程でとると良いなどの具体的な話がお聞きしたい。

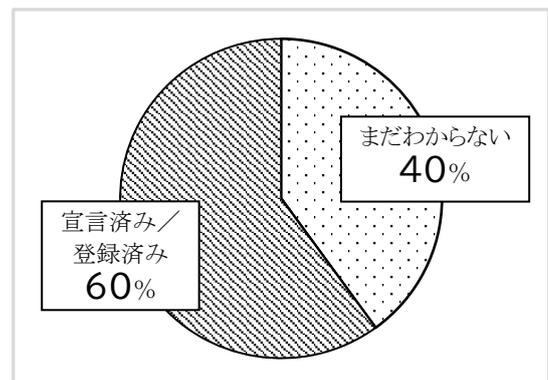
6 どのような開催方法が参加しやすいですか。

回答項目	件数	割合
録画配信による講演会	13	87%
講演会（現地参加・オンライン併用方式）	1	7%
20人程度の少人数セミナー	1	7%
ライブ配信による講演会	0	0%
現地開催による講演会	0	0%
事業所への講師派遣	0	0%
事業者組合等と共催し、研修に位置付けての実施	0	0%



7 講演動画を視聴して、『イクボス宣言をしてみよう』、『登録制度に参加してみよう』と思われましたか。

回答項目	件数	割合
してみようと思う	0	0%
まだわからない	6	40%
しないと思う	0	0%
宣言済み／登録済み	9	60%



◆結論

今回のアンケート結果から、イクボスプロジェクトに対する参加者の理解度と関心が高まっていることが明らかになりました。特にデジタル技術の活用に関する具体的な情報提供が求められており、今後の講演会では、実践的な内容を充実させることでさらに参加者の満足度を向上させることが期待されます。また、イクボス宣言制度への参加意欲を促進するための施策も検討する必要があります。

以上

講師への疑問・質問に対する回答票

No.	質問	回答
1	<p>例えばAIを有効に利用するために有料のAIを申し込み導入することは簡単でしょうか、お話の中のセキュリティなどの設定や会社としてのマニュアル作成など、デジタル人材がいない中小零細企業はどのようにしたら出来るのでしょうか。お金を払えば何でも導入まではできませんが、使えるようになるまでの道筋がよくわかりません。それ自体をAIに聞きながらやるということが結論でしょうか。</p>	<p>デジタル人材がいないことは、デジタル導入の大きな問題にはなりません。デジタルに詳しい人材に聞けばよいからです。では、デジタルに詳しい人材とどのように出会うか？ですが、2つの方法があります。1つは、市や県、KIP等の公的支援機関の専門家に相談に行く事です。一定レベルの実力のある専門家がいる事と、料金が無料や非常に安価な点があり、最もおすすめの方法です。もう1つは、副業・兼業人材に依頼することです。本格的なコンサルを依頼するよりも圧倒的に安価に依頼できます。また、ここでも、初めてのマッチングに不安を感じる事がないよう、行政の支援策があります。神奈川県プロフェッショナル人材拠点にて、マッチングするところまでのサポートを無料でやってくれます。神奈川県プロ人材活用センター ビジネス支援 KIP 公益財団法人 神奈川産業振興センター<https://www.kipc.or.jp/business-support/productivity/professional-talent/> マッチング後は副業者にお支払いする料金はかかりますが、月20時間くらい依頼して5万円〜と、かなり安価です。デジタルツールを導入するのに、どれを選べばよいか？という相談にも対応してくれますし、オンラインにはなるとは思いますが、AIの使い方を教えてほしいければ、それも対応してくれます。私も副業者を活用していますが、大企業の社員の方が多いです。どんな感じで副業者がサポートしてくれるか？は事例をご覧ください。「神奈川県プロ人材活用センター」のご紹介<https://www.kipc.or.jp/business-support/.assets/%E2%98%85%E5%89%AF%E6%A5%AD%E3%83%BB%E5%85%BC%E6%A5%AD%E6%88%90%E7%B4%84%E4%BA%8B%E4%BE%8B%E9%9B%86%E3%8F%8B.pdf> このやり方が、現状、最も簡単な方法です。しかし、簡単なのはいいとして、確実に上手くやれるか？がご不安かと思えます。確実に上手く進めるには、相性のあう副業者とのマッチングが重要です。そのために、どんな仕事を依頼したいか、どんな人と巡り合いたいかなど、ご要望を伺って、きちんと言語化して、人を選定する必要があります。そのために、一度、神奈川県プロフェッショナル人材拠点に相談し、頭の中で考えている事を整理してもらってから、副業者を選ぶ事業者の紹介も受けるとよいと思います。複数の事業者とアライアンスを結んでいますので、御社に適した副業紹介事業者を教えてください。もちろん、相談も利用も無料です。ご希望のAIの専門知識を持った副業者なら、多分募集すれば20人〜30人程度は応募が来ると思えます。常用雇用は人手不足と言われていますが、副業・兼業はそれとはだいぶ様相が違います。その上、きちんと選べば、相当ハイスベックかつ人柄も良い方と出会う事が出来、業務が想像以上に円滑に進みます。大切なことは、デジタルに詳しい人がいることよりも、自分たちがやりたい事を正確に漏れなくダブリなく専門人材に伝えられることです。また、外部の人材から学んで、自社を成長させようという熱意です。ほとんどの中小企業は、これが出来ていません。普段、業務をきちんとデザインしてコントロールせず、社員に丸投げして、上手い事やってもらうというお任せ型スタイルでの経営をしているためです。デジタル機器は、人間と違って、指示が明確になければうまく事はやってくれません。副業・兼業も同じです。雇用ではなく、業務委託契約なので、契約した範囲しかやってくれないので、きちんと言語化して、ゴールは何かも示した上で依頼しないと、効果は出ません。デジタル化が難しいのではなく、経営スタイルを変えられない、学習できない組織になっていることの変革が出来ない事がコトの本質で、結果として、いつまでもデジタル化が進まないという結果に繋がっているように思える企業様が多いです。今回、AI活用をご検討されているという事であれば、ぜひプロフェッショナル人材拠点に相談し、副業者と巡り合い、外部の知恵を吸収して組織変革を行う挑戦をしてみても良いと思います。自社のルールや組織文化外の人との交流で、新たな扉が開き、組織変革の一助になる可能性があると思います。その際に重要なのは、経営者の覚悟になります。経営の成長・成熟、持続可能性を高めるための覚悟をもって取組んで頂くための情報提供になれば幸いです。御社の挑戦の成功を祈念いたします。</p>